

平成24年度窯業同窓会総会議事録

I. 期日 平成24年5月27日(日) 16時15分～17時20分

II. 場所 東京工業大学 大岡山西8号館 W833講義室

III. 内容

今年の総会は大学のホームカミングデーに合わせて開催され、懇親会は全体交流会会場にて行われた。

1. 開会の挨拶

川村副会長の司会により開催された。

2. 木村会長挨拶

同窓会の使命は会員の親睦と学生・学科の支援であり、見学会、企業セミナー、学科説明会補助、謝恩送別会参加等を実施している。また、今年は大学への後援としてホームカミングデーへ参加した。

同窓意識の涵養のため、学生・若年層の取込策の強化が求められており、特に学生への支援活動に力を入れている。

支部活動の支援・活発化、名簿台帳管理の徹底を行っている。現在の総会案内発送数は1588名となっている。

広報活動としてウェブによるHP、名簿の活用をしたいとの挨拶があった。全会員の55%がPCの利用者であると報告された。

3. 定例行事

3.1 物故者哀悼

本総会までにお亡くなりになった16名の会員紹介があり、冥福をお祈りして黙祷を捧げた。お亡くなりになった方々は以下のとおりです。

卒年	氏名	逝去日	卒年	氏名	逝去日
1940	大原 功	H22.02.18	1942	浅見進一	H23.09.14
1942	浅田正吾	H24.02.06	1942	中重栄太郎	H20.
1944	河原田次剛	H23.07.26	1946	入江日出男	H23.07.10
1952	井上 昭	H23.05.28	1953	荒木繁蔵	H23.
1956	森田直文	H24.03.19	1961	荻納 淑	H16.04.
1964	色川秀勇	H22.12.31	1965	前田敏勝	H24.05.20
1977	李 卿喜	H23.07.16	—	小坂丈予	H23.11.02
—	大津賀望	H24.05.18	—	阿竹徹	H23.08.31

3. 2 各賞受賞者紹介

American Ceramic soc.

Richard M.Fulrath Awards:多々見純一（横浜国大）

“Improvement in reliability of Ceramics”

日本セラミックス協会

学術賞 大橋直樹様（物質・材料研究機構）

「酸化物の電荷補償と機能発現に関する研究」

学術賞 安盛敦雄様（東京理科大学）

「不混和現象を利用した機能性ガラス・セラミックス材料の創製」

進歩賞：保科拓也様（東京工業大学）

「チタン酸バリウム微粒子・セラミックスのサイズ効果」

21世紀記念国際交流賞個人冠賞受賞者，倉田元治賞：木口賢紀様（東北大学）

21世紀記念国際交流賞個人冠賞受賞者，井関孝善賞：吉田克己様（東京工業大学）

21世紀記念国際交流賞個人冠賞受賞者，井関孝善賞：多々見純一様（横浜国立大学）

セラミックス基礎科学第50回記念大会

1.優秀講演賞 寺西貴志様（岡山大学）

2.優秀ポスター賞 柳田さやか様（東京理科大）、佐々部智文君（坂井・宮内研）、

Kunchaya Pruethiarenun 君（中島・松下研）、中川洋亮君（中島・松下研）

小林知裕君（矢野（豊）研）

東京工業大学

荣誉教授：宗宮重行（会員東京工業大学）

3. 3 セラミックス研究奨励賞を授与

優秀学士論文賞

小林大斗君（中島・松下研究室）

「酸化チタンをコーティングしたマイクロ流路内での水の流動性に及ぼす光照射の影響」

堆仁美君（鶴見・武田研究室）

「CaO 添加による BaTiO₃-(Bi^{1/2} Na^{1/2})TiO₃ 固溶体の半導体化」

セラミック・マイクロワールド賞

◦金賞 山浦考太郎君（柴田・矢野研究室）

「ローダミンのダンジョン」

◦銀賞 近藤大介君（田中・生駒研究室）

「リン酸カルシウムの花畑」

3. 4 卒業50周年記念者 記念品贈呈

卒業50周年（昭和37年卒業）をお祝いし、記念品として益子焼窯元村田浩氏作の花瓶「糖白釉山帰来文花入」を木村会長より出席された3名（当日）に贈呈した。

（昭和37年ご卒業の方々）

大村心也様 長田光生様 川村隆宏様 九里孝雄様
駒田英治様 田中満生様 中口國雄様



なお、平成23年より直近5年以上の会費納入を記念品贈呈の条件にしております。

4. 最近の学内の動き

4. 1 無機材料工学科

学科長の中島章教授より紹介された

(1) 昨年度からの人事異動：職員の動き

助教：

- ・塩田忠先生（材料極限プロセス分野へ学科内移動）

(2) 学部一年生の学科志望状況と教育

無機材料工学科には主に工学部第2類（金属工学、有機材料工学、無機材料工学）から志望されるが、人気学科の一つである。無機材料工学科の教育は材料を科学的に理解することであり、構造科学群、物性科学群、反応科学群、プロセス科学群の4科学群による教育を行っている。

(3) 無機材料工学科の学問群と研究

上記4つの学問群に実験等群を加えた5つの学問群を紹介され、世界でトップレベルの研究を高活性光触媒材料の開発を例に挙げ説明された。

(4) 受賞など

セラミックス研究奨励賞として、優秀学士論文賞2名、セラミックマイクロワールド賞2名。

4. 2 原子炉工学研究所

矢野豊彦教授より紹介された。

(1) 卒業研究には無機材料工学科より3名の学生を受け入れている。

(2) 研究は平和で安全・安心な生活と社会の構築のための原子力研究となり、福島原発事故の復旧と被災地の復興のための研究による社会貢献を目指している。

4. 3 応用セラミックス研究所

伊藤満研究所長より紹介された

(1) すずかけ台の研究設備

この度、J2棟が完成し、研究環境が一段と改善された。

(2) 人員

無機系の岡田、神谷、赤津先生と、建築系、セキュアマテリアル研究センターで総勢27名となっている。

(3) 全国共同研究を他大学と行っており、年間100件もの研究となっている。

大型プロジェクトも推進しており、元素戦略センターの立ち上げを計画している。

5. 平成23年度事業報告並びに決算報告

5. 1 平成23年度事業報告

金古副会長より報告される。

○ H23年度総会・講演会 5/25

○ 見学会 9/30 (参加者：学生13名、教職員2名,OB他19名)

太陽誘電株式会社玉村工場,R&Dセンター,

EMCセンター,高崎観音山

○ 第1回企業セミナー (説明会・懇親会) 12/7

昭和電工(株),日本ガイシ(株),TOTO(株),TDK(株),

オリンパスヘルモマテリアル(株)

○ 第2回企業セミナー (説明会・懇親会) 12/14

本田技研(株),黒崎播磨(株),Panasonic(株),新日本製鐵(株),

東レ(株),ホヤ(株)

○ 無機材料工学科謝恩会送別会協賛 3/1

○ ウェブによる名簿の活用：広報担当；江上副会長

○ 幹事会 (8/30,10/26,臨時 12/14,1/20, 2/21, 3/30,5/11)

5. 2 平成23年度決算報告

中川副会長より報告される。

決算概略表は以下のとおりである。

項目	22決算	23予算	23決算	24予算
収入	1,636,663	1,820,000	1,912,738	1,740,000
年会費・寄付金	1,311,500	1,500,000	1,478,500	1,500,000
総会・懇親会費	205,000	200,000	210,000	
広告費・セミナー賛助金	120,000	120,000	224,000	240,000
前年度繰越金	5,961,032	5,721,534	5,721,534	5,976,495
合計	7,597,695	7,541,534	7,634,272	7,716,495
支出	1,876,161	1,681,000	1,657,777	1,897,344
総会関係費	783,945	786,000	821,507	702,344
名簿発行・他	0		2,475	175,000
本部関係費	543,679	654,000	584,708	620,000
支部関係費	248,537	250,000	249,087	400,000
東工大130年寄付金	300,000			
次期繰越金	5,721,534	5,860,534	5,976,495	5,819,151
合計	7,597,695	7,541,534	7,634,272	7,716,495

6. 監査報告

石原監事より監査結果の報告があり、正しく管理されていると報告された。

7. 平成24年度事業計画並びに予算

7. 1 事業計画

金古副会長より報告され、承認された。

- ・総会（5/27）
- ・見学会の開催（9月）：日本板硝子と新日鉄君津を計画中
- ・企業セミナー・親睦会開催（12月）
- ・学科の支援強化：学生の見学会検討中
- ・支部活動の支援

7. 2 予算

中川副会長より報告され、承認された。予算概略表中の、広告費他の収入240千円は企業セミナーの賛助金を示す。

8. 広報活動におけるweb名簿システム作成

江上副会長より報告された。

8. 1 目的：数年毎の名簿印刷発行経費の削減とセキュリティー向上

8. 2 システムの概要：

- ・ 外部サーバ（現行のレンタルサーバ）上に会員属性管理のデータベースを作成。
- ・ インターネット上でアクセスし、会員個人の属性を会員自ら移動等の更新が出来る。
- ・ 会員の属性情報がキーワード検索できる。卒業年次、所属研究室、勤務先名など。
- ・ 属性の公開・非公開は会員自身が決める。

8. 3 今後の課題：

- ・ 管理者メニューの充実化、表示印刷形式の指定、会員属性のマスター管理。
- ・ IT環境にない会員へのサービス。オフラインの依頼により限定情報提供など。

8. 4 検討活動：

平成23年8月30日の幹事会より開始～平成24年3月30日幹事会でプロトタイプシステムのデモを行った。

9. 各支部報告

今年は各支部からの出席があり、活動状況の報告があった。

9. 1 東海・北陸支部報告（荒川支部長）

- ・ 支部総会・講演会・懇親会（デンソーD-ースクエアにて）を10月28日に開催した。木村会長も出席された。

9. 2 関西支部報告（長田支部長）

- ・ 支部設立して5年経過、現在30名の会員にて活動している。

9. 3 中国・四国支部報告（三宅支部長）

- ・ 12月11日（日）ホテルグランヴィア岡山にて11名が参加して支部総会開催した。木村会長も出席された。

9. 4 九州支部報告（榎本尚也氏報告）

- ・ 10月15日（土）ホテルセントラザ博多にて10名が参加して支部総会開催した。木村会長も出席された。

9. 5 東北・北海道支部設立準備委員会報告（林委員長）

- ・ この春、林滋生委員長、相馬隆雄委員、松島雄太委員にて支部設立準備委員会承認された。なお、林委員長は同窓会幹事となること木村会長より紹介された。

10. 役員人事

相談役：鈴木弘茂,山内尚隆,福長脩,山岸千丈

顧問：古賀義根,赤尾洋二,各務芳樹,宇田川和重,宗宮重行,
加藤誠軌,堀江鋭二,尾野幹也,猪股吉三,石原幸正,

錦織経治,尾島正男,

会長：木村脩七

次期会長候補：金古次雄

副会長：川村隆宏（総務）,中川順吉（会計）,金古次雄（企画）,
江上浩二（広報）,安田榮一,水谷惟恭,岡田清,
篠崎和夫（専攻長）,中島章（学科長）

監事：石原幸正,錦織経治

関東支部長 金古次雄（兼任）、東海支部長 荒川健二 奥山雅彦

関西支部長 長田光生、中国・四国支部長 三宅通博

九州支部長 大熊奂、

東北・北海道支部設立準備委員長 林滋生

幹事：高宮陽一,長田光生,後藤誠史,尾崎義治,広瀬裕二,

秋葉徳二,清家捷二,相馬隆雄,岡部淑夫,石川演慶,

尾花博,緒明博,矢野豊彦,原真一,石黒隆,

端山潔,有代匡,渡部俊也,安田公一,舟窪浩,

矢野哲司,榎本尚也,林滋生

事務局：福富路子

学年幹事

H17 矢沢亜希,中村明衣子, H18 石井智,滝沢佳世,

H19 柿沼保夫,加茂嵩支, H20 征矢大,米沢祐,

H21 萩原学,清水麻衣, H22 立石貴志,猪木亮慶,

H23 宮本拓実,和泉達也H24 小林大斗,堆仁美,

1 1 . 閉会の挨拶

川村副会長

以上

(記録：秋葉)